

明かりをつける

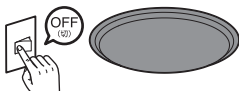
壁スイッチで操作する

■壁スイッチで明かりをつける

壁スイッチ ON：点灯(ラストメモリ)
壁スイッチを切る前の明かりを再現します。

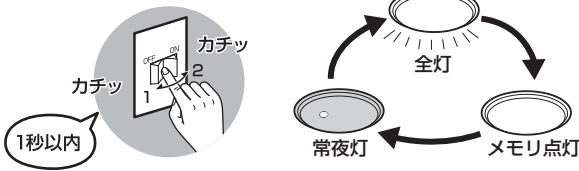


壁スイッチ OFF：消灯
消灯します。



■壁スイッチで点灯状態を切り替える

壁スイッチを ON にした状態で、短く (1 秒以内) スイッチを操作することで、点灯状態を切り替えることができます。



壁スイッチを ON にしても点灯しないときは、壁スイッチを短く (1 秒以内) 操作して点灯状態を切り替えるか、壁スイッチを ON にしてリモコンで点灯してください。

リモコンで操作する

①壁スイッチを「ON」にする



②リモコンを本体に向けてボタンを操作する



■明かりをつける

メモリ点灯／常夜灯ボタン

メモリに記憶させた明るさで点灯 (メモリ点灯) させたり、常夜灯を点灯させたりします。ボタンを押すたびにメモリ点灯と常夜灯が切り替わります。※出荷時に記憶されている明かり (点灯状態) は全灯です。

全灯ボタン

100% の明るさで点灯させます。

消灯ボタン

明かりを消灯させます。

■明るさを変える

シーリングライトの明るさを調節します。
※調光 10 段階 (常夜灯は 2 段階)
調光範囲を超えると、「ビビッ」と音がします。

調光ボタン [明るい]

明かりを 1 段階明るくします。
長押しで連続調節できます。

調光ボタン [暗い]

明かりを 1 段階暗くします。
長押しで連続調節できます。
※常夜灯の明るさの調節
常夜灯の状態で調光ボタンを押して明るさを調節します。
常夜灯の明るさは記憶され、次に点灯したときは、記憶された明るさで点灯します。

■明るさと色を記憶させる

メモリ設定ボタン

設定した明るさと色を記憶させます。
ボタンを押すと、「ビビッ」と音がします。
メモリ点灯ボタンを押したり、壁スイッチを切り替えたりすると再現できます。
※常夜灯はメモリ設定はできません。

■色を変える

シーリングライトの色を調節します。
※調色 11 段階
調色範囲を超えると、「ビビッ」と音がします。

調色ボタン [白色 (昼光色)]

明かりを 1 段階ずつ白色に近づけます。
長押しで連続調節できます。

調色ボタン [暖色 (電球色)]

明かりを 1 段階ずつ暖色に近づけます。
長押しで連続調節できます。

■タイマー機能を使う

※詳しい使いかたは、別紙「リモコン詳細編」を参照してください。

おやすみボタン

就寝時などに 1 回だけ消灯できます。

るすばんボタン

留守中でも、点灯と消灯を毎日繰り返します。

点灯タイマーボタン

起床時などに 1 回だけ点灯できます。

■シーンを切り替える

シーンボタン [読書]

文字が読みやすい、昼白色相当の明かりで点灯します。

シーンボタン [食事]

暖かな、電球色相当の明かりで点灯します。

シーンボタン [くつろぎ]

明るさを抑えた、暖かな電球色相当の明かりで点灯します。

タイマーの使いかた

次の 3 つのタイマーがあります。

るすばん機能	おやすみタイマー	点灯タイマー
留守中でも、点灯と消灯を毎日繰り返します	就寝時などに 1 回だけ消灯できます	起床時などに 1 回だけ点灯できます

※るすばん機能は他のタイマーと組み合わせて使えますが、おやすみタイマーと点灯タイマーは、同時には使えません。

故障かな?と思ったら

使用中に異常が生じた場合は、修理を依頼される前に本書をよくお読みのうえ、下記の点を確認してください。

状 態	考えられる原因	処 置
リモコンで照明器具が操作できない	リモコンの電池が正しく入っていない。	電池を正しく入れてください。
	リモコンの電池が消耗している。	新しい電池に交換してください。
	照明器具とリモコンのチャンネルが合っていない。	「チャンネルの設定変更について」を参照し、チャンネルを合わせてください。
照明器具が点灯しない	壁スイッチが OFF になっている。	壁スイッチを ON にしてください。
壁スイッチを ON にしても点灯しない	照明器具が「消灯」状態になっている。	「壁スイッチで操作する」を参照し、壁スイッチを短く (1 秒以内) 操作して点灯状態を切り替えるか、壁スイッチを ON にしてリモコンで切り替えてください。
操作していないのに明かりがついたり、変わったりする	短い停電などにより、「壁スイッチで点灯状態を切り替える」機能が働き、点灯状態が切り替わることがあります。	使用しないときは、壁スイッチを OFF にしてください。
明かりが繰り返し変化する		「壁スイッチで操作する」を参照し、壁スイッチを短く (1 秒以内) 操作して点灯状態を切り替えるか、壁スイッチを ON にしてリモコンで切り替えてください。
	工場出荷時の試験点灯モードになっている。	壁スイッチを OFF にするか、リモコンのメモリ設定ボタンとおやすみボタンを同時に 7 秒以上押し、試験点灯モードを解除してください。

それでも解決できないときは、お買い上げの販売店、またはアイリスコールにお問い合わせください。



警告

ご自分での分解・修理・改造はおやめください。

608897
281217-FJC-GXJ-01
P120118-FJC-GXJ-01



ECOHiLUX
エコハイルクス

LEDシーリングライト
CL8DL-FRM/CL12DL-FRM

このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 使用する前に「安全上の注意」を必ずお読みください。
- この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
- この取扱説明書はお使いになる方がいつでも見ることができるよう大切に保管してください。
- 「保証書」は、「お買い上げ日」「販売店名」の記入を必ず確かめ販売店からお受け取りください。

安全上の注意

安全に使用いただくために下記の事項を必ずお守りください。

図記号の意味



注意を示す記号です。



禁止を示す記号です。



必ず行うことを示す記号です。



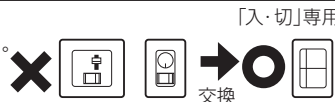
警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。



改造や、部品交換をしない
落下・感電・火災などの原因になります。

調光器を使用しない
破損や発煙の原因になります。
(配線器具の交換は資格が必要です)



可燃物で覆わない
可燃物を被せたり、近づけたりしない
火災の原因になります。

取り付けできない天井・配線器具に取り付けない
「取り付けできない天井・配線器具」に記載された場所や配線器具には取り付けしないでください。落下・感電・火災などの原因になります。(配線器具の交換は資格が必要です)



取り付けは確実に
落下・破損・けがの原因になりますので、本書にしたがい確実に取り付けてください。

異常を感じたら速やかに電源を切る
すぐに電源を切り、お買い上げの販売店またはアイリスコールへお問い合わせください。

交流 100V で使用する
火災・感電のおそれがありますので、定格電圧以外では使用しないでください。

清掃・取り付け・取り外しの際は必ず電源を切る
感電の原因になります。

ご使用についてのお知らせ

- 1 個の壁スイッチで 2 台以上の照明器具を操作しないでください。同時に切り替わらないことがあります。
- 付属のリモコンはアイリスオーヤマ製照明器具専用です。他のリモコンを使用する機器 (テレビなど) には使用できません。
- 本照明器具の近くで他の赤外線リモコン方式の機器やワイヤレス機器を使用すると、正常に動作しないことがあります。
- 点灯直後や明るさを切り替えた直後などに、リモコン信号を受信しにくくなる場合があります。その際は少し時間を置いて、再度リモコンを操作してください。
- 3D テレビを視聴しているときは、本照明器具のリモコンが操作しにくくなる場合があります。
- 天井や壁、床の材質によっては、リモコンが操作しにくくなる場合があります。
- ラジオ、ワイヤレス機器はなるべく照明器具から離して使用してください。雑音が入ることがあります。

- 本照明器具はリモコンで消灯しても、約 0.5W の電力を消費しています。長期間使用しない場合は、壁スイッチを切ってください。
- LED 照明は、同じ型式・形状の商品でも商品ごとに発光色、明るさが異なることがあります。
- 照射距離が近い場合、照射面で光むらができることがあります。
- 本照明器具は、LED 光源が内部に組み込まれているため、LED 光源の交換はできません。
- 停電復帰時や、予期せずにごく短時間の停電が発生した場合、点灯状態が変わることがあります。
- 充電電池をリモコンに使用しないでください。操作できないことがあります。
- エアコン吹き出し口近くへの設置など、温度が高くなる機器の近くに設置しないでください。また、真下にストーブやコンロなどの発熱機器、温度が高くなる機器を設置しないでください。故障の原因になります。
- 防犯カメラやビデオカメラを介して照射面を見た際、カメラのモニターや録画画像に縞模様やちらつきが見える場合があります。

仕様

品 番	消費電力	器具光束	定格電源電圧	定格電源周波数	待機電力	サイズ	質量
CL8DL-FRM	30.7W	4299lm (最大点灯時)	AC100V	50Hz/60Hz	0.5W	φ700 × H173 mm	約2.6kg
CL12DL-FRM	39.2W	5499lm (最大点灯時)				φ700 × H173 mm	約2.6kg

※LED モジュールの設計寿命は 40,000 時間です。LED が点灯しなくなるか、光束が 70% に低下するまでのいずれか短い時間を推定したもので、製品の寿命を保証するものではありません。
※商品の仕様は予告なく変更することがあります。

アイリスオーヤマ株式会社

〒980-8510 仙台市青葉区五橋 2 丁目 12 番 1 号 ホームページ <http://www.irisohyama.co.jp/>

製品に関するお問い合わせは

アイリスコール

通話料無料

0120-311-564

修理に関するお問い合わせは

修理専用コール

通話料無料

0800-170-7070

受付時間 平日 9:00～17:00、土・日・祝日 9:00～12:00 / 13:00～17:00 (年末年始・夏期休業期間・会社都合による休日を除く)

FAX でのお問い合わせは

通話料無料

0800-888-2600

Web からのお問い合わせは <https://www.irisohyama.co.jp/support/>

メルフォームにご記入のうえ送信してください

取り付けできない天井・配線器具

次のような場所には取り付けない

本照明器具は天井取り付け専用です。指定以外の場所に取り付けると、火災・感電・落下によるけがの原因となります。

✕

舟底天井

✕

さおぶち天井

✕

格子天井

✕

補強のない薄い天井
(ベニヤ板、石膏ボードなど)

✕

簡単にたわむ天井

✕

壁面

✕

傾斜天井

不安定な場所

突出物や凹凸のある天井

1m

1m

照明器具の取り付けには配線器具を中心に約1m×1mの平面部が必要です。

次のような配線器具には取り付けない

火災や感電・落下によるけがの原因となります。配線器具の交換は、販売店・工事に依頼してください。（配線器具の交換は資格が必要です）

✕

ケースウェイに取り付けてある

✕

埋込ローゼットの出しが10mm未満
あるいは14mm以上

✕

角型丸型引掛シーリングの出しが20mm未満あるいは24mm以上

✕

破損している
ぐらつきがある

✕

端子
電源端子が露出している

✕

シーリングハンガーが付いている

✕

凸部
凸部がある

各部の名称

●組み立てる前に下記の部品がすべてそろっていることをお確かめください。
●表記以外の部材は梱包材です。

配線器具
(付属していません)

それぞれの配線器具に合った
スペーサーを取り付けること
で、器具が取り付けやすくなり
ます。

※一部の配線器具には
取り付けられない(ゆるい、きつい)場合があります。
その場合には、
スペーサーは使用しないでください。

本体裏側
スポンジ

端子

電源カバー

取り付け用付属品

スペーサー (角)

スペーサー (丸)

本体 (分解しないでください)

LEDカバー

つまみ

ロック解除ボタン (2か所)

シェード

付属品 (リモコン関連)

●リモコン: 1台

●リモコンホルダー: 1個

●単3形アルカリ乾電池: 2本

●ねじ: 2本

リモコン収納のしかた 乾電池の入れかた

リモコンホルダーを壁に取り付け、壁掛け収納ができます。
※収納した状態で操作しないでください。

1 つめを押しながら、裏面のカバーを持ち上げる

2 表示に合わせて⊕ ⊖を間違えないように乾電池を入れ、つめの向きを合わせてカバーを閉める

●電池の寿命は新品のアルカリ乾電池を使用したときで約1年です。付属の電池は動作確認用であり上記より早く消耗することがあります。
●電池を交換するときは、2本とも新品の単3形アルカリ乾電池に交換してください。
●新旧、異種の電池を混ぜて使用しないでください。
●長期間使用しないときは、電池を取り出して保管してください。

チャンネルの設定変更について

リモコンに電池が入っていること、壁スイッチがあれば、ON (入) になっていることを確認してから、変更してください。

リモコンの裏カバーを外します。
リモコンを照明器具に向けてながら内側にあるスライドスイッチを動かしてチャンネルを変更してください。

※リモコンのチャンネル切り替えに合わせて、チャンネル設定信号が本体にも送られます。

複数の照明器具がある場合

●1つのリモコンで操作する
複数の照明器具を同じチャンネルに設定します。
※照明器具間の距離やリモコン操作時の方向によっては同時に点灯しない場合があります。

●別々のリモコンで操作する
隣接する照明器具のチャンネルを別々に設定することでそれぞれ対応するリモコンでのみ操作できます。

●注意
複数の照明器具があり、別々のリモコンで操作したい場合は、設定を変更したい照明器具だけが信号を受ける向きに向けるか、設定を変更したい照明器具に近づけるなどして設定してください。
他の照明器具も、チャンネル設定信号を受けると設定が変わってしまいます。
※設定変更をしない方の照明器具の壁スイッチをOFF (切) にしたり、間に扉があればその扉を閉めて、設定変更を行ってください。

お手入れについて

照明器具が汚れていると暗くなります。明るく安全に使用していただくため、定期的に清掃することをおすすめします。

●必ず壁スイッチをOFF (切) にするか、電源を遮断してください。感電事故の原因となります。
●消灯直後は本体や器具が高温になっています。確実に冷えたことを確認してから清掃をしてください。

1 水で薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸し、よく絞ってから汚れを拭き取る

2 汚れ落ちを確認後、洗剤分を拭き取る
水に浸して固く絞った布で完全に拭き取ってください。

3 仕上げに乾いた柔らかい布で、水分を完全に拭き取る

●リモコンの送信部は、乾いた柔らかい布で定期的に汚れを拭き取ってください。汚れるとリモコンでの操作がしにくくなります。

次のものは使用しない

ペンジン シンナー みがき粉 タワシ スポンジの硬い面

●注意
絶対に、水をかけたり、水につけて洗ったりしないでください。火災、感電、故障の原因になります。

取り付け 警告 取り付けは必ず電源を遮断してから行ってください。

1 天井についている配線器具(引掛シーリング・ローゼット)の寸法と形状を確認する

●注意
高所での作業になります。
必ず足元の安全を確保してから行ってください。

※下図以外の配線器具、または配線器具が無い配線だけのものは取り付けができません。
電気店、または工事店に工事を依頼してください。
※資格のない方の工事は法律で禁止されています。

天井からの出し	20mm以上24mm未満	10mm以上14mm未満				
角型引掛シーリング	丸型引掛シーリング・ローゼット	埋込引掛ローゼット				
形状	角型引掛シーリング	丸型引掛シーリング	フル引掛ローゼット	丸型フル引掛ローゼット	埋込ローゼット (耳つき)	埋込ローゼット (耳なし)

＜側面図＞
天井からの出し
配線器具

●注意
ローゼットの耳部にねじが付いている場合は、ねじを外してから照明器具を取り付けてください。

2 配線器具にスペーサーを取り付ける

それぞれの配線器具に合ったスペーサーを取り付けることで、器具が取り付けやすくなります。(埋込引掛ローゼットの場合は、スペーサーは使用しません。)
※一部の配線器具には取り付けられない(ゆるい、きつい)場合があります。その場合には、スペーサーは使用しないでください。

角型引掛シーリングの場合

丸型引掛シーリング・ローゼットの場合

3 シェードを取り外す
シェードを反時計回りに回して本体から取り外してください。

4 本体を取り付ける

①本体中央のつまみを持ち、のぞき窓から配線器具の(端子)差し込み穴の位置を確認し、スペーサーの印に本体の印を合わせます。
※スペーサーを使用していない場合は、本体の印を目安に端子を差し込み穴に合わせてください。
②そのまま持ち上げて端子を差し込んでください。
③つまみを時計回りに回します。
つまみを天井側に押しつけながら「カチッ」と音がするまで回してください。
※ロック解除ボタン(「取り外し」参照)は押さずに回してください。
押しながら回すと「カチッ」と音がしません。
※配線器具の種類によっては「カチッ」と音がしない場合があります。

■スペーサー (角) の場合
本体の=印を、スペーサーの=印に合わせて差し込み、回します。

■スペーサー (丸) の場合
本体の=印を、スペーサーの=印に合わせて差し込み、回します。

■スペーサー (角) の場合
■スペーサー (丸) の場合

5 シェードを取り付ける

①シェードの取付部が本体のシェード取付部の間に入るように合わせ、シェードを押しつけながら時計回りに軽く回してください。
シェードの取付部が本体のシェード取付部に入ります。
②シェードの回転が止まるまで時計回りに回し、確実に取り付けてください。

●注意
本体を必要以上に回転させないでください。
引掛シーリングやローゼットが破損します。

●警告
シェードは確実に本体に取り付けてください。
落下によるけがのおそれがあります。

照明器具がぐらついたり、傾いたりしている場合は正しく取り付けられていないため、もう一度取り付けなおしてください。

※取り付け後、使用したときに異常が見られた場合は、壁スイッチを切り、もう一度照明器具を外して、取り付けなおしてください。

取り外し

●警告
●取り外しは必ず電源を遮断してから行ってください。
●消灯直後は本体や器具の中が高温になっています。確実に冷えたことを確認してから取り外してください。

1 シェードを取り外す
シェードを反時計回りに回して本体から取り外してください。

2 本体を取り外す
①つまみの2か所のロック解除ボタンを2つ同時に押しながら、
②反時計回りに回して本体を外してください。

●注意
本体を片方の手で支えながら外してください。
器具の落下によるけがや破損の原因となります。

3 スペーサーを取り外す

●注意
本体を外したはずみでスペーサーが落下することがあります。